

## PRP 治療を希望される方への説明書・同意書

### 〇はじめに

この説明書は PRP 治療の内容・目的などについて説明するものです。よくお読みいただくとともに、医師の説明をよくお聞きになり、PRP 療法をお受けになるか否かをお決め下さい。

お受けになる場合には同意書に署名し、日付を記載して主治医にお渡しください。ご不明な点がございましたら、どうぞ遠慮なさらず主治医にお問い合わせください。

### 〇PRP 治療とは

PRP とは、Platelet-Rich Plasma を略した名称です。日本語では多血小板血漿と呼ばれていて、血小板の濃縮液を活性化したものを指しています。

血液 1 mm<sup>3</sup> 当りに 10 万～40 万個含まれる血小板は、血管が損傷したとき損傷した場所に集まって止血をするのですが、その際に多量の成長因子を放出します。この成長因子には、組織修復のプロセスを開始する働きがあります。

PRP 治療とは、PRP に含まれる成長因子（下に詳細を記します）の力を利用して、人が本来持っている治癒能力や組織修復能力・再生能力を最大限に引き出す治療です。

ご自身の血液成分だけを用いた治療ですので、免疫反応が起きにくいという点も大きなメリットです。

1 週間～6 か月で組織の修復が起こり、治療後 2 週間～3 か月に効果の出現が期待できます。また、繰り返し治療を行うことも可能です。

### 〇PRP に含まれる主な成長因子とその働き

- ・血小板由来成長因子（PDGF-aa、PDGF-ab、PDGF-bb）  
細胞の複製を刺激します。血管形成・上皮形成・肉芽組織形成を促進します。
- ・形質転換成長因子（TGF-β 1、TGF-β 2）  
細胞外マトリックス形成を促進します。骨細胞の代謝を調節します。
- ・血管内皮成長因子（VEGF）  
血管形成を促進します。
- ・線維芽細胞増殖因子（FGF）  
内皮細胞および線維芽細胞の増殖を促進します。血管形成を刺激します。

### 〇治療の方法について

- ・治療の流れ：①採血 ⇒ ②PRP 分離 ⇒ ③施術  
すべての治療は当日中に完了します。原則として麻酔は必要ありません。

①採血：1 キット約 26～52mL の血液を採取します。

②PRP 分離：採取した血液を遠心分離し PRP を作製します。この間は待合室にてお待ちください。（30 分程度）

③施術：エコー装置で正確な損傷部位を確認しながら、注射器にて PRP を注入します。

※治療当日の激しい運動や飲酒、マッサージなど治療部位に刺激が加わるようなことはお控えください。また、治療部位の感染を防ぐため、治療当日の入浴はお控えください。

### 〇PRP 治療の欠点と副作用について

①ご自身の血液を使用するため体調や年齢などに左右され、場合によっては安定した効果が出にくいといった欠点があります（治療効果・効果の持続期間には個人差があります）。

②施術時、患部への注入には痛みを伴います。

③施術後数日間、治療部位に腫れ・痛み・熱感が出ます。

④腫れは治療部位によっては 1 週間程度続くことがあります。

⑤採血部位、治療部位に皮下出血が起こる場合があります。

※腫れ、痛み、熱感、内出血等は一時的ですが、症状が強く出た場合はご相談ください。腫れや熱感を早く改善するためには、クーリング（冷やすこと）をお勧めいたします。

## ○他の治療法との比較について

今回お受けになる PRP 治療以外にも、現在は次のような治療が行われています。

### ①ステロイド剤を用いた治療

抗炎症作用を期待して、ステロイド剤を用いた治療が通常診療で行われていますが、逆にステロイド剤の副作用で重篤な感染症の誘発・骨粗鬆症の増悪・薬剤離脱困難等が生じてしまうことが稀にあります。

### ②ヒアルロン酸を用いた治療

ヒアルロン酸はクッションのような働きをし、痛みを和らげる効果がありますが、作用効果が短期間であるため反復性の治療が求められます。

※以上も踏まえ、PRP 治療をお受けになるか否かをご検討ください。

## ○その他治療についての注意事項

体調が良くない場合や、採取した血液の状態によっては、PRP を分離できないことがあります。その際には、再度採血をさせていただく場合があります。また、PRP を濃縮する機器は定期的にメンテナンスを行っていますが、突然の不具合発生により、治療の日程やお時間を変更させていただくことがありますので、ご理解の程お願いいたします。

## ○同意撤回について

この治療に関して同意した後、ご自身の意思で同意を撤回することができます。同意を撤回することで不利益が生じることはありません。ただし、施術後の撤回については、これに該当しません。

## ○健康被害の補償について

この治療を受けることによって生じた健康被害については補償の対象となります。ただし、明らかな因果関係が証明できないものに対しては補償の対象外となることがあります。

## ○個人情報の保護について

治療を受けられる方に関する身体の状態や記録など、プライバシーの保護には充分配慮いたします。今後、学術雑誌や学会にて結果や経過・治療部位の写真などを公表する可能性があります。個人を特定できる内容が使われることはありません。

## ○治療にかかる費用について

PRP 治療は医療保険の対象ではありません。

下記の所定の治療費を全額お支払いいただきます。

PRP 治療費（初回） 100,000 円（税別）

PRP 治療費（2 回目～） 80,000 円／1 回（税別）

治療後、個人的な事情及び費用等に関する問題に関しては一切の責を負いかねますのでご了承ください。

この説明書に記載されている治療の経過や状態などはあくまで平均的なものであり、個人差があることをご了承ください。万一偶発的に緊急事態が起きた場合は最善の処置を行います。

なお、治療に関して当院及び医師の指示に従っていただけない場合、当院は一切の責を負いかねますのでご了承ください。

医療法人和幸会 阪奈中央病院  
整形外科  
スポーツ関節鏡センター



